

## イベント会場等におけるガソリン等の貯蔵・取り扱いと火気の取り扱いに注意してください！

平成25年8月15日、京都府福知山市の花火大会で多数の死傷者を出す火災が発生しました。花火大会、祭事等のイベントで多くの市民や観客等が参加される行事において火災が発生すると、被害が甚大になるおそれがあります。特に、出店等での火気の取り扱いや、使用されるガソリン等の危険物の貯蔵・取り扱いには、細心の注意が必要です。

### ～ガソリンの特性～

- ・ ガソリンの引火点は、 $-40^{\circ}\text{C}$ と低く、極めて引火しやすい。
- ・ 揮発しやすく、その蒸気は空気よりも約3～4倍重いので、滞留しやすく可燃性の雰囲気形成が広範囲に形成されやすい
- ・ 電気の不良導体であるため、流動等の際に発生した静電気が蓄積しやすい。

### ～貯蔵・取り扱いの留意事項～

- ・ ガソリンは引火点が低く、静電気や火花等により、容易に火災を起こす危険性があり、取り扱いを誤ると大きな事故につながります。
- ・ ガソリンは引火性、着火性の高い危険物です。発電機を稼働中に給油は絶対にしないでください。また、周囲に火気等がないことを確認してから給油してください。
- ・ 保管の際は、消防法で定められた専用の金属製容器に入れ、通風、換気の良い場所とし、直射日光や高温になる場所を避けてください。ガソリンの温度が上がると蒸気圧が高くなり開口する際、噴き出す恐れがあります。



ガソリンの貯蔵に適した容器の例  
(金属製容器であることが必要)



ガソリンの貯蔵に適さない容器の例  
(樹脂製容器は火災危険が高い)

- ・ 容器取り扱いの際には、開口前の圧力調整弁の操作等、取り扱い説明書等に記載された操作方法に従い、こぼれ・あふれ等がないよう細心の注意を払いましょう。万一流出させてしまった場合は、少量であっても回収・除去を行うとともに周囲の火気使用禁止や立入りの制限等が必要です。
- ・ 衣服や身体にガソリンが付着した場合は、直ちに衣服を脱ぎ大量の水と石鹸で洗い流しましょう。

### ～火気使用器具を使用する際の留意事項～

- ・ 消火器や水バケツ等の消火用具を設置しましょう。
- ・ イベント会場等でガスコンロ等を使用する際は、ガス漏れを防ぐため、ゴムホース等は器具との接続部分をホースバンド等で締付けるとともに、適正な長さで取り付け、ひび割れ等の劣化がないか点検してください。
- ・ プロパンガスボンベを使用する際は、直射日光が当たらない通気性の良い場所に設置し、転倒しないようベルト等で固定してください。

※ご不明な点がございましたら、秦野市消防本部予防課までお問い合わせください。

電話 0463-81-5240 (直通)